

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
数学課題探究 α	3	3		数研出版 4STEP 数学 I + A
到達目標 数学 I、数学 A の各分野について、発展的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学的な見方や考え方のよさを認識し、活用する態度を育てる。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	数学的な考え方に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b 数学的な見方と考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c 数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d 知識・理解	数学における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、身に付けている。
評価の方法	
単元テスト、小テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	9	第9章 整数の性質 約数と倍数 ユークリッドの互助法 整数の性質の活用	○			○	10	14	第5章 データの分析 データの整理、代表値 散らばりと四分位範囲 分散と標準偏差、相関	○		○	
5	10	第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式	○	○		○	11	14	第6章 場合の数 場合の数 確率	○	○	○	○
6	14	第2章 集合と命題 集合、命題と条件 命題と証明	○	○	○	○	12	10	第8章 図形の性質 平面図形 空間図形	○	○	○	○
7	9	第3章 2次関数 2次関数とグラフ	○		○		1	5	総合演習		○	○	
8	6	2次方程式と2次不等式		○		○	2						
9	14	第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用	○	○	○	○	3						
							計 105						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 大学および看護学校への進学を考えている生徒を対象とします。数学 I および数学 A の授業で学習した内容の応用問題や発展問題を中心に行い、学びを深めていきます。基礎・基本の定着を前提に進みますので、既習内容を事前に確認して授業に臨んでください。
